

## 第72回 兵庫県人権教育研究大会中央大会 兼但馬地区大会に参加しました

**日時** 9月27日(土) 10:00～16:00

**場所** 豊岡市民会館文化ホール・豊岡地区コミュニティーセンター・じばさんTAJIMA・豊岡健康福祉センター

県下各地から852人が集い、丹波市からは55人が参加しました。午前の全体会は、NPO法人はばたけ手をつなぐ育成会の和太鼓に始まり、開会行事、特別講演と続きました。芸術文化観光専門職大学学長の平田オリザさんが「わかりあえないことから」の演題で講演をされました。グローバルな視点から異なる文化や価値観を理解し、尊重することの重要性やコミュニケーションスキルを磨く大切さ等、具体的な事例を交えてわかりやすくお話をされました。

午後は4つの分野で9分科会が展開されました。丹波市からは、第Ⅱ分野(人権と共生をはぐくむ社会づくり)第4分科会(障がいのある人の人権)において西小学校の足立奈保子さんが報告され、新井小学校の荻野由香里さんが司会をされました。



## 市同教 研修会の報告

### 【学校教育人権研修会】 ■ 8月5日(土) ■ 柏原住民センター

**演 題** 「いまあらためて部落問題を考える」

**講 師** 北 川 真 児さん(部落解放同盟兵庫県連合会書記次長)

学校教育人権研修会は、就学前部会・小学校部会・中高部会の希望者を対象にした研修会で49人が参加されました。

北川さんは、ひょうご部落解放・人権研究所の研究員もされており、人権に関する兵庫県民意識調査や様々なデータや資料を用いて、理解しやすく講義を進めていただきました。インターネット上での差別事象についても触れていただき、ネット上の差別「煽動」行為に対応できる教育・啓発体制の構築の必要性を説かれました。北川さんは、どの子も「差別を受けるかもしれない」「差別をするかもしれない」誰もが「当事者」だという意識をつけていくことが極めて重要とされています。「差別をしてはいけない」から「差別をなくそう」へ、この考え方を共有していくことがこれからの人権教育・啓発のカギとなるとしめくられました。



### 講演会 丹波市 人権ゆかりの地探訪 ■ 8月22日(金) ■ 氷上住民センター

**演 題** 「差別に向き合い、抗いながら生きてきた丹波の人たちと、子どもたちへの願い」

**講 師** 細 田 哲 子さん(元小学校教諭)

この研修会は丹波市隣保館事業の「じんけんセミナー」を兼ねて実施しました。参加対象は、市内の小・中・県立学校の教員と参加を希望された市民の方々です。受講者は50名を超えました。講義は「差別に向き合い、抗いながら生きてきた丹波の人たちと、子どもたちへの願い」のテーマで、元小学校教諭の細田哲子さんによるお話でした。

講演後のアンケートには、「子どもたちの視線に触れ差別をなくす行動がとれる生徒を育

てたい」「いつも心に響く話し方で先生のような授業をしたい」「出来事の表面だけでなく生活のリアルを知ることができました」「“人をくぐる”という言葉大切にします」今回の講演会は、先生方にとって人権学習を進めるうえで大切なヒントがたくさんあったと感じました。



### 【第1回 社会教育人権研修会】 ■ 6月20日(金) ■ 柏原住民センター

**演 題** 「わたしからはじまる部落問題」

**講 師** 柴 原 浩 嗣さん(大阪府人権協会 業務執行理事)

この研修会には、社会教育分野(社会教育・社会福祉・PTA・宗教・企業・行政)の部会員さんと理事さん72名が参加されました。

はじめに隣のひとと自己紹介をする中で、人を認めることから人権との関わりを考えました。次に部落差別が今どのような状況にあるのかをクイズ形式で考えていきました。隣のひとと自分の考えについて意見交換をしながら、知識や考えを深めていきました。インターネット上での部落差別について侮辱罪の厳罰化、発信者情報開示、送信防止措置(削除)の明確かつ迅速化の新しい情報も共有できました。そして部落差別をなくすためにどうすればよいのか、私ができることを参加者が考えていきました。この講演を通して参加された皆さんは、「私ができること」が一つは見つかったのではないのでしょうか。



### 【第2回 社会教育人権研修会】 ■ 9月12日(金) ■ 柏原住民センター

**演 題** 「あなたは地域の心の門番 ～つらい気持ちに寄り添うために～」

**講 師** 竹 内 志 津 香さん(NPO法人ゲートキーパー支援センター理事長)

第2回社会教育人権研修は、社会福祉部会、宗教部会、PTA部会の理事及び部会員の方を対象に開催し、29名の方が参加されました。

講師の竹内さんによるとゲートキーパーとは、悩んでいる人に声を掛け、話を聴いて、必要な支援につなげ、見守る人のことだそうです。自殺という重いテーマもありましたが、自殺の要因や自殺のサインに気づくための知識や身近な人が悩んでいた時の具体的な対応の話もしていただきました。最後に自分を大切にというメッセージをもらいました。①自分の気持ちが穏やかで落ち着いていなければ悩みを聴いてあげることは難しい。②自分の心や体の健康にも、関心をもって。③自分の楽しみをつくる。講演の後には竹内さんがいつもやっておられる心の回復体操を教えてもらいました。研修の最後にリラックスできる体操を実演し、みんなで「気持ちいいなって」言って伸びをして終わりました。



### 【第3回 社会教育人権研修会】 ■ 9月18日(土) ■ 柏原住民センター

**演 題** 「カスタマーハラスメントの現状と課題」 **講 師** 池 内 裕 美さん(関西大学 社会学部 教授)

第3回社会教育人権研修会は、社会教育・企業・行政の各部会員さん、理事の皆さんを対象に開催し、37名が参加されました。

はじめにカスタハラを巡る行政の動きと本日の講演概要の説明があり、内容を4つに分けて講義が進んでいきました。①悪質クレーム(カスタハラ)とは何か。池内教授の研究分野をもとに概念整理とカスタマーハラスメントの実態について、「カスタハラとクレームの違いやカスタハラの定義について」教えてもらいました。②クレマーの特徴とカスタハラ増加の背景について、「誰が、なぜクレームを訴えるのか」の話があり、コミュニケーション時の注意事項は大変参考になりました。③苦情対応の極意とタイプ別対応ポイントについて、「よくあるご質問や事例」を参考に具体的な話がありました。④カスタハラ対策における組織的課題として、個人が抱えてしまうのではなく、「組織はカスタハラとどう向き合うべきか」具体的なお話がありました。今回の講演でカスタマーハラスメントの知識やその対策について知識を深めることができました。



**進化しつづける企業**  
MAEDA CONSTRUCTION CO.  
**前田建設株式会社**  
代表取締役 前田 忠

本社: 〒669-3125 兵庫県丹波市山南町池谷108  
TEL(0795)77-0168 FAX(0795)77-1681  
ホームページ <https://www.maeda-kensetsu.co.jp>

大阪事務所: 大阪市淀川区西中島三丁目14番地5  
TEL(06)6829-6836

アグリ事業部(キノコの小屋):  
兵庫県丹波市氷上町成松337 TEL(0795)82-0010

**JA丹波ひかみは**  
国産国消に取り組み  
地域の「食」と「農」を応援します！

とれたて野菜直売所  
～希望とるおいのあるまちづくり～

**JA丹波ひかみ**  
〒669-3461 丹波市氷上町市辺440  
TEL(0795)82-0170 FAX(0795)82-3658  
<https://ja-tanbahikami.or.jp/>

あなたとまちとフェイス to フェイス  
**中兵庫信用金庫**  
NAKASHIN

理事長 足立 厚 郎

本店・丹波本部 丹波市氷上町成松226-1  
Tel.(0795)82-8850(代)

三 田 本 部 三田市けやき台1-4-3  
Tel.(079)569-7150(代)

ホームページ <https://www.nakashin.co.jp/>

**株式会社 吉住工務店**  
代表取締役社長 吉住 正 基

本社: 丹波市春日町野村2465  
TEL: 0795-74-0712

こだま館 / 丹波展示場  
西宮支店 / モデルルーム